

介護の道へ決意新た

六郷高福祉科 7人が宣誓式



実習着に身を包み、宣誓式に臨む生徒

県内唯一の福祉科がある美郷町の六郷高校で21日、福祉科21期生の宣誓式が行われた。今春進級した2年生7人が実習着に身を包み、介護福

祉士を目指すとの決意を新たに誓った。一人一人が名前を呼ばれた後、生徒を代表して三浦樹生さんが「知識と技術の研さん

に励み、豊かな感性と的確な判断力、深い洞察力を身に付けるため努力する」と誓いの言葉を述べた。

伊藤哲校長は式辞で「多くの卒業生が福祉の現場で活躍し、地域社会を支えている。本日は、福祉の仕事の責任と誇りを自覚して決意を新たに

する式。焦らず着実にその道を歩んでください」とエールを送った。

最後に山崎もみじさんがお礼の言葉を述べ、「人とのつながりを大切にし、いつでも温かく気持ちを受け止め、寄り添うことのできる介護福祉士を目指す」と語った。

六郷高では2年次から福祉科と普通科に分かれ、福祉科の生徒は3年次の1月に行われる介護福祉士国家試験の合格を目指す。座学のほか、特別養護老人ホームでの実習に取り組む。

今春卒業した19期生の合格率は88・9%で、全国平均の82・8%を上回った。福祉科は2003年に設置され、これまでに425人が卒業した。(佐藤将弥)